

## 次号予告

### 特集 西太平洋の時代

世界の工業生産基地としての西太平洋経済圏

……………小林 實(日本興業銀行)

西太平洋のダイナミズムをいかに捉えるか

——構造転換の連鎖的継起について

……………渡辺利夫(東京工業大学)

西太平洋経済の成長とその展望

……………坂本正弘(神戸市外語大学)

日本の直接投資とネットワークの形成

青木 健(国際貿易投資研究所)

### 連載講座

ニューラルネットの基礎数理 (3)

……………上坂吉則(東京理科大学)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	高森 寛	青山学院大学
副委員長	高井 英造	三菱石油㈱
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	上野 哲郎	和光大学
	大村 雄史	住友商事㈱
	片山 隆仁	防衛庁
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサービス㈱
	町原 文明	日本電信電話㈱
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	矢部 博	東京理科大学

編集後記●本誌の編集委員長を務めさせていただきました2年間、念願としてきたことは、「ORにルネサンスを!、そのために本誌は、なにか役割を果たしたい」ということでした。本号の特集「ORの再挑戦」も、21世紀へ向けてのORの新たな旅立ちにあたって、その道しるべを問うたものです。日本のOR、いや世界のORとともに、この半世紀を歩まれた諸先達にいまお生き続ける教訓を問い、新たな挑戦へと若いORワーカーを奮い立たせてくれるようなお言葉をいただき、この一里塚に刻み込みたい、そんな気持ちでした。森口先生の回顧にあるマハラノビスの言葉、「ORとしての方法が確立し、問題の種類も性格もはっきりしてきたもの、それはもはやORではない、」は、いま新たな呼びかけをもって、わたしたちに迫ってきます。たしかに、教科書になって「teachable」になったOR、それは安定した状況、繰り返し再現されるような固定した問題状況では、役に立つORです。しかし、そもそもORの原点では、かつてのレーダーの出現のように、新兵器が次々と登場

する戦争というような場で、安定した世界で蓄積された過去の経験が役に立たないような場でも、いやそのようなときにこそ、ORは本領を発揮し、真価を示しました。今日われわれが取り組んでいる問題を思うとき、企業経営の問題にしる、環境・資源にしる、戦略情報のデザインにしる、まさしく乱流が逆巻く、ピアスカラ氏がいう「turbulent」な世界の中の、そして、過去に経験されたことのない「illusive」な問題がなんと多いことでしょう。わたしたちは、いままでにまして、否応なく、ORの原点に立たされています●そのようなORワーカーに知的活力の源泉となるような「オペレーションズ・リサーチ」誌でありたい。解答集つきの teachable なORを超えて、いままでに経験されなかった新しい姿の問題(issue)を見い出し、火を点じ、わたしたちの内に、燃え続けてくれるような豊かな疑問と issue を投げ続ける本誌でありたい。いま、その願いと期待をいよいよ強くして、若山邦紘次期編集委員長と編集委員の皆さんにバトンタッチいたします。(高森 寛)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成3年7月号 第36巻 第7号 通巻367号

代表者 岡 久 雄

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代)FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 高森 寛

発売所 株式会社 日科技連出版社  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ